

おやめRepo

みんなで創る しあわせに暮らせるまち 長井



vol.52
平成31年(2019年)3月号

発行/山形県長井市
問い合わせ/長井市総合政策課 tel.0238-87-0714
http://www.city.nagai.yamagata.jp

日本初の鉄道駅と一体化した市庁舎!

長井市役所新庁舎整備について

現在の市役所本庁舎は、築年数が60年を超えており、老朽化や耐震性能不足、庁舎機能の分散化など多くの課題を抱えています。そこで窓口の集約化による市民サービスの向上や防災拠点機能の充実を図るため、新庁舎の整備を進めています。2017年度(平成29年度)には「長井市新庁舎建設整備基本計画」を策定しました。策定に当たっては、「市民検討委員会」や「庁内検討委員会」の他、アンケートや意見箱の設置、パブリックコメントなどを実施し、市民の皆さんをはじめとする利用者の実際の意見を踏まえながら検討しました。また、2018年度(平成30年度)に新庁舎に求められる機能や規模などを具体化するために基本設計及び実施設計を行いました。

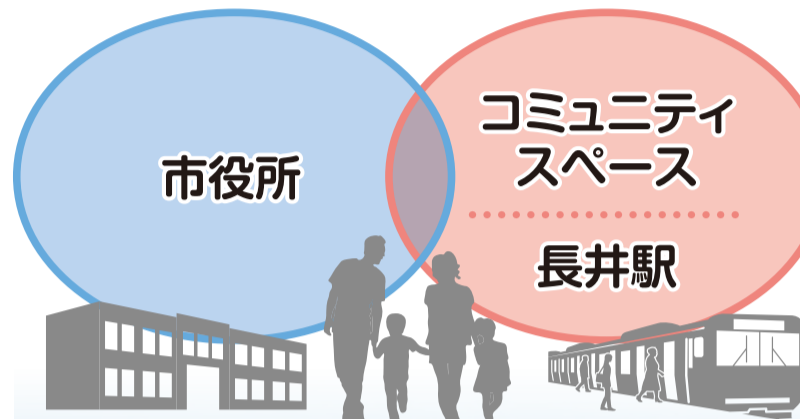
新庁舎の6つの基本方針

- 1 市民の安全と安心を守る庁舎
- 2 わかりやすく人にやさしい庁舎
- 3 機能的で利便性の高い庁舎
- 4 交流とふれあいを生む親しみやすい庁舎
- 5 将来変化に対応する経済的な庁舎
- 6 環境配慮や立地特性を踏まえた庁舎

整備工事、駐車場の造成工事を行う予定です。総事業費は53億円程度を見込んでおり、財源としては地方債や基金などを充てる予定ですが、国の支援措置として約12億円を見込んでいます。国の支援措置の適用期限が2020年度末であることから、2020年度内の工事完了、2021年度からの供用開始を目指し事業を進めています。

新庁舎が目指すもの

市役所は、まちづくりの中核です。また長井駅は置賜の地域交通の拠点です。この二つを一体化し、さらに市民の皆さんが交流したり活動ができるコミュニティスペースを加えることで、長井市役所は、市民の皆さんが「誇り」と「愛着」を持てる、まちの新しい顔として生まれ変わります。



市民に開かれた議場を目指して計画しています。

中央ホールは1階に総案内と利用頻度の高い窓口を配置する計画です。カウンターに仕切りを設けたり個室の相談室を配置することでプライバシーを確保します。キッズコーナーや授乳室も設け、子どもと一緒に訪れやすい子育て支援スペースの充実を図ります。

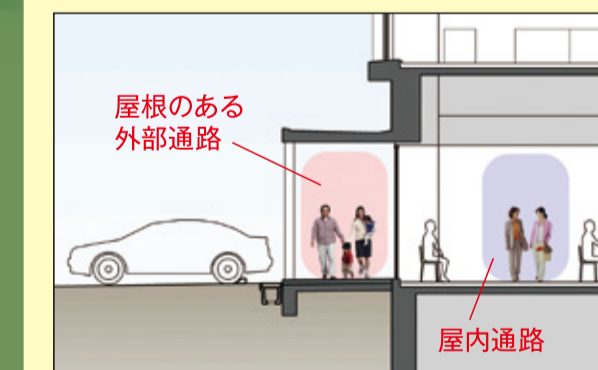
駅と一体となったにぎわいを育む交流スペースとして、市民ホールを計画しています。吹き抜けのある開放的な空間で、交流や話し・展示などを行うことができる予定です。

敷地面積: 約18,800㎡
庁舎棟: 約8,200㎡
倉庫棟: 約250㎡
車庫棟: 約400㎡

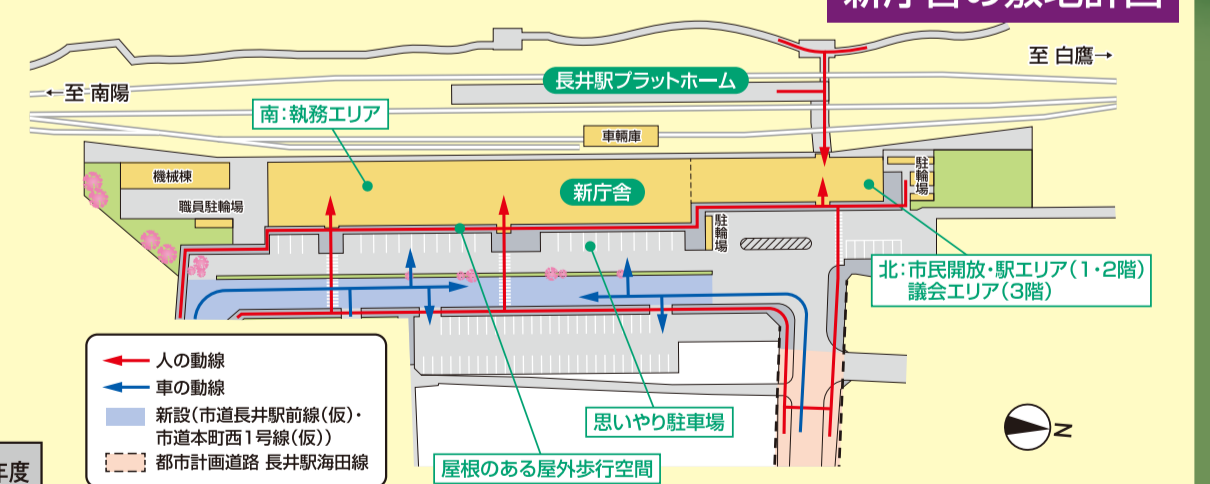


※図はイメージです

◆新庁舎前の空間イメージ



◆新庁舎の敷地計画



◆新庁舎の建設スケジュール

| 業務等 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|-----------|--------------------|--------|--------|-------------|
| 基本設計・実施設計 | 基本・実施設計 1年間での実施 | | | |
| 建設工事 | | 発注 | 建設工事 | |
| 引越し・供用開始等 | | | | 引越 ▲供用開始 |

新庁舎は、長井駅と一体となり、長井市のランドマークとなる施設を目指しています。新庁舎の東側にも道路を設け、南北に通り抜けできるようにすることで、まちなかを回遊できるルートにします。長井駅前が広がりを持たせ、バスやタクシーが停車できるスペースを設けます。また、新庁舎の正面には、無散水の消雪設備を備え、幅も広くゆったりとした思いやり駐車場を設けます。新庁舎から長井駅につながる外部通路は屋根付きにするので、雨や雪、夏の強い日差しなどから歩行者を守ります。

4/27(土)

旧長井小学校第一校舎 リニューアルオープン!

1933年(昭和8年)に建設され80年以上に渡って児童を見守ってきた長井市のシンボルであり、国の登録有形文化財となっている旧長井小学校第一校舎が、耐震化などの改修工事を終え、飲食や郷土資料の展示などを除き、いよいよオープンします。



「学び」と「交流」の場

オープニングイベント

4/27(土)~5/6(月)

GW期間も休まず開催

4/27日は午前10時30分~午後9時30分
4/28日~5/6日は午前9時30分~午後9時30分

テープカット

【時間】午前10時15分~【場所】正面玄関
(カット予定者) 市長、教育長、市議会議長 他

自分だけのオリジナルを作ろう!
子ども向け
工作ワークショップ

旧長井小学校第一校舎の
ピフォーアフター!

耐震改修工事の
写真展

自分の地域を自慢しよう!
ながい探検隊
活動報告

旧長井小学校第一校舎の
ヒミツを探ろう!
クイズラリー

コンテンツ

- 旧長井小学校第一校舎
リニューアルオープン
- 市民文化会館大規模改修
- 長井病院給食調理場改修
- 市役所新庁舎整備

長井を離れてかなりの年数が経ちますが、子どもの頃が懐かしくよみがえります。ぜひ校舎を保存できる事を希望します。

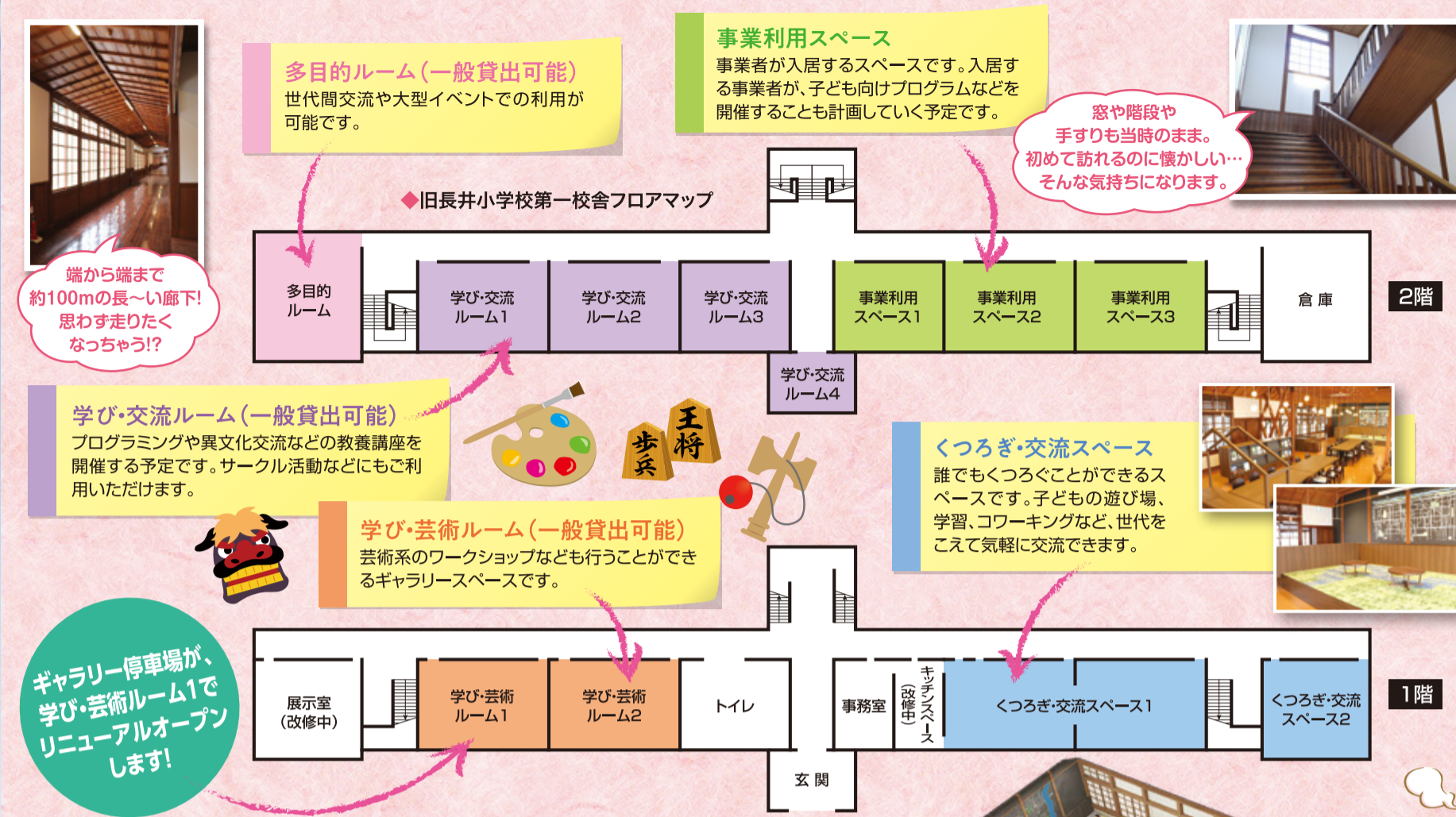
日本最大級の貴重な木造校舎を守って欲しいです。

寄附金とともに 寄せられたメッセージ

長井小学校卒業生です。冬はすきまから雪が入って廊下に雪が積もったりしていたけれど、あたたかみのある木造校舎が好きでした。今後も残せるものなら残してほしいと思い寄附させていただきました。

寄附へのご協力ありがとうございました。旧長井小学校第一校舎の利活用のため、市内内外の皆さんからいただいた寄附金は、目標を上回る合計506万8千3百円の寄附金が寄せられました。あたたかいメッセージも数多く届きました。寄附金は、8億8400万円の改修事業費のうち、改修工事費に充てられる計画です。ご協力ありがとうございました。

旧長井小学校第一校舎施設案内



4/12(金)~14(日) 施設内覧会開催! 無料
午前9時30分~午後5時30分
事前申込不要、時間内ならいつでもOK
その場で施設利用予約が可能です。

ルームやスペースを借りることができます
旧長井小学校第一校舎では、学び・交流ルームなどを一般の人も利用することができます。普段のサークル活動や発表会、作品の展示会、演奏会などでご利用ください。

◎使用料

| 区分 | 基本使用料 | | |
|-----------|-------|--------|---------|
| | 1時間 | 1日 | 1週間 |
| 学び・芸術ルーム1 | 250円 | 2,100円 | 8,820円 |
| 学び・芸術ルーム2 | 250円 | 2,100円 | 8,820円 |
| 多目的ルーム | 300円 | 2,520円 | 10,580円 |
| 学び・交流ルーム1 | 250円 | 2,100円 | 8,820円 |
| 学び・交流ルーム2 | 250円 | 2,100円 | 8,820円 |
| 学び・交流ルーム3 | 200円 | 1,680円 | 7,050円 |
| 学び・交流ルーム4 | 100円 | 840円 | 3,520円 |

◎イベントなどで入場料を徴収する場合

| 1人1回当たりの入場料 | 加算する額 |
|----------------------|-----------------|
| 1,000円以下のとき | 基本使用料の30%に相当する額 |
| 1,000円を超え3,000円以下のとき | 50% |
| 3,000円を超えるとき | 100% |

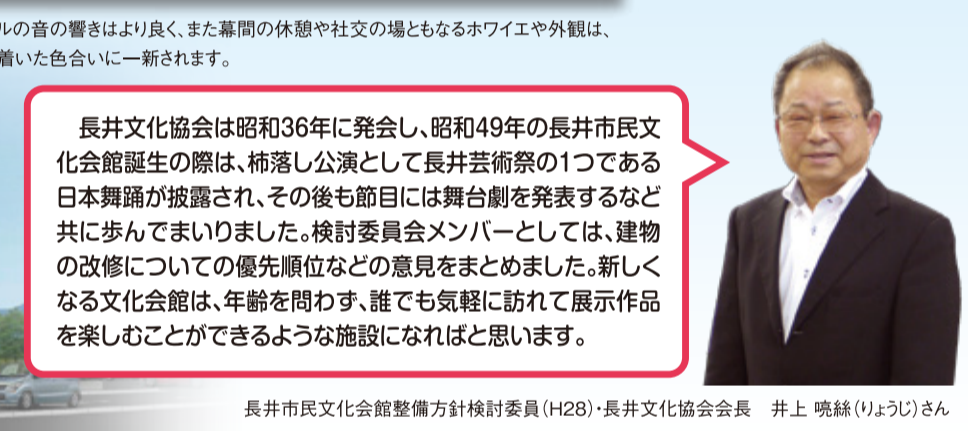
●開館時間/午前9時30分~午後9時30分
●休館日/月曜日(月曜日の場合は翌日)
●お問い合わせ: 旧長井小学校第一校舎施設管理者(アクティオ株) ☎0238(87)1802

子どもから大人まで、市民の皆様の居場所、各種活動や観光交流の場、さらには、長井市のにぎわいと活性化につなげる拠点施設としての役割を、しっかりと果たしていきたいと思っております。思い出の校舎でもある「旧長井小学校第一校舎」に、多くの皆様のご来館をお待ちしております。どうぞ、お気軽にお立ち寄りください。

旧長井小学校第一校舎施設長予定者 舟山 良美さん

長井市内にある公共施設の改修・改築計画
長井市は、市内にある老朽化した公共施設の大規模改修や改築、移転新築などを計画しています。整備を進めるにあたっては、2016年(平成28年)に策定した「長井市公共施設等整備計画」に基づいて、財政負担の軽減や平準化を考慮しながら進めています。

長井市民文化会館
1974年(昭和49年)に完成した長井市民文化会館は、長井の文化の発信地として、半世紀の長きにわたる様々なイベントやコンサートが行われてきました。しかし、今年で築45年を迎え、老朽化が著しいため、耐震・大規模改修を行うこととしました。耐震・大規模改修により、市民文化芸術活動や音楽演奏活動などがさらに身近に感じる多目的な施設を目指します。2019年6月から工事を開始し、2020年夏頃の完成を予定しています。



公立置賜長井病院
公立置賜長井病院は1970年(昭和45年)に長井市立総合病院として整備され、置賜広域病院企業団の医療施設として運営されています。現在は外来各科、一般病棟、人工透析で構成されており、初期医療や回復期および慢性期治療の診療を担っています。一般病棟1970年築、50床は老朽化に加え、震度6以上の地震で倒壊の恐れがあること、また診療管理棟(1982年築)と人工透析棟(1988年築)についても経年劣化や基本構造や将来性などの観点から、現病棟を解体して、同じ敷地内にコンパクト化・効率化した新病院を建設します。新病院は2階建てとなりますが病床数は現行を維持します。

入院患者の安全確保のために旧精神科棟を改修した後、仮病棟として時転床し、現在の一般病棟は2020年8月に解体工事を始め、2021年2月に建設工事に着手、2022年4月の新病院での業務開始を目指します。

学校給食共同調理場の機能
1967年(昭和42年)に建築された現在の調理場は、市内の小中学校8校と県立米沢養護学校長井校、同置賜校に合わせて1日約2300食を提供しています。一方で築52年が経過し老朽化が著しく、高度な衛生管理への対応など、施設の改築が解決できない課題も多いことから、長井市寺島地内への移転新築を行います。

2017年度には学校関係者・保護者・児童センターの代表者らで構成する「長井市学校給食共同調理場整備検討委員会」を組織し、新調理場の基本的な考え「長井市学校給食共同調理場整備基本構想(基本計画)」をまとめました。また、長井市では初めてとなる「PFI方式」で調理場整備を進めます。

2019年度に調理場建設から施設の維持管理・運営を行う事業者の選定の上、新調理場の設計・建設を進め、2021年4月からの供給開始を目指します。

※PFI方式: プラバートファイナンス・インフラの略称で、公共施設の設計・建設・維持管理及び運営(民間)の資金と能力ノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効果的にサービスの提供を図るもの。

改修のポイント
整備内容については、長井市民文化会館整備方針検討委員会から平成29年に提出いただいた検討報告書をもとに、市民の皆さんや利用者から意見をいただきながら、様々な議論を重ねてきました。その結果、改修内容の検討にあたっては、大規模改修による長寿命化を図る耐震工事などの改修、さらに利用しやすいことやユニバーサルデザインに配慮した改修、耐用年数を経過した設備などの更新を目指すものとし、限られた予算の中で、工法やグレード、不急な工事などを精査し、優先順位をつけながら施工していきます。また、財源についても有利な起債を検討していきます。これまでのイメージを大事にしなが、市民の皆さんにより親しまれ、生まれ変わった市民文化会館に愛着を持っていただけるよう計画します。

◎工事の概要

| 優先順位 | 項目 | 想定している工事概要 |
|------|------------|--|
| 1 | 耐震補強 | ●耐震壁の増設 |
| 2 | 大規模改修 | ●屋根、屋上、外壁、内壁、天井、床などの躯体を保護するための改修(防水、結露対策、断熱対策、耐震改修を含む) ●ホール客席の幅広化 ●各部屋の間取り変更による機能と動線の整理 ●冷暖房設備の改修 |
| 3 | ユニバーサルデザイン | ●館内バリアフリー化(各所にスロープ設置、段差解消など) ●トイレの洋式化 ●エレベーター設置 ●ホール客席の一部を車イス対応 |
| 4 | 安全性緊急性 | ●アスベスト使用材の対応 ●外部非常階段の更新 ●全館照明のLED化 ●各会議室の防音強化 |
| 5 | 利便性 | ●楽屋の間取りの変更 ●授乳室の設置 ●舞台設備の更新(舞台機構、照明、音響) |



新公立置賜長井病院の役割
住み慣れた地域の医療機関として外来診療は現状を維持します。また公立置賜総合病院のサテライト病院として、退院後及び地域医療機関の後方病床としての受け皿となる入院機能を提供します。さらに在宅医療の推進拠点として地域の診療所・介護施設と連携し、地域包括システムを推進していきます。

新学校給食共同調理場の機能
学校給食衛生管理基準に基づいた衛生的で効率的な調理環境が整備され、栄養バランスはもちろん多彩な献立に対応できる調理設備も整えられる他、要望の多いアレルギー対応専用室を設ける予定です。

また、調理能力を向上させることで児童センターなどにも給食が提供できるようになるため、子育て支援の役割も果たします。第五次総合計画で掲げた「安全・安心・おいしい給食を提供し、地産地消と食育を推進する」施設として、次世代を担う子どもたちの心身の発達に寄与することを目指します。



旧長井小学校第一校舎 開催予定のプログラム

テーマ 子どもも大人も好奇心と創造力!
誰もが子どもの頃に立ち返ることができる「旧校舎」ならではの様々なプログラムを開催予定です。

◎山形県内初「こどものまち」を開催
実社会に近い形の「まち」を子どもたちだけでつくる仮想のまちです。「ごっこ遊び」の集合体として「まち」を運営し、疑似社会を体験できます。主役は子どもたち。子どもたちが「まち」のお店や会社で働き、対価として「まち」の中だけで通用する疑似通貨を使って買い物などをする中で、仕事をする楽しさやまちの仕組みの面白さを学ぶことができます。体験を通して、社会に参加することや社会の一員として活動することを学ぶプログラムです。子どもたちの主体性を育むとともに、自分の暮らすまちへの関心を持ち、長井市のまちづくりへの参画意識を醸成するきっかけづくりにもなります。

「こどものまち」の流れ

- 1 転入届を記入
受付をする市役所職員役も子どもたちです
- 2 市民登録を行う
- 3 説明を聞く
- 4 初めての仕事探し
ハローワーク担当も子どもたち!
- 5 仕事をする
飲食店やゲームセンター、リサイクルショップなど、いろんな仕事があります
- 6 お給料をもらう
もちろん銀行もありますよ
- 7 買ったお給料はなに使うかな? 大事に使おう!

このほかにもみなさんに参加していただけるプログラムを開催予定! 詳細は市報やチラシなどでお知らせしていきます。

子ども向けプログラム
●チャレンジランキング
何でもランキングにして挑戦! 月No.1を目指そう!
●英会話教室
楽しく英語に触れることから始めよう!
●プログラミング
まずはゲーム感覚で学んでいこう!

大人の学び直しプログラム
●ガーデニング講座
植物を育てることで自分自身も健康に!
●長井食堂
食にまつわるストーリーを感じながらの食を楽しめます
●歌声喫茶
懐かしい思い出と共にみんなで歌い、笑顔にならなう

※内容は変更となる場合があります。